



2012・8・15

第 161 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

“今、民主主義が試されるとき”

「講演会」参加受付開始しました

原発再稼働許すな、オスプレイ配備反対、消費税増税のための三党合意破棄せよなどの主権者国民の声が国会をとりまき、まさに“今、民主主義が試されているとき”です。こうしたなか、九条の会講演会の参加受付が始まりました。九条の会事務局は作成した講演会のチラシの活用などによって参加者を広げることを呼びかけています。

炭鉱画家・作兵衛から戦争をみる

【福岡／九条の会・筑豊】 飯塚市の九条の会・筑豊は7月24日、世界記憶遺産に登録された炭鉱画家の山本作兵衛と憲法9条をテーマにした学習会を開き、54人が参加しました。

講師で飯塚市出身の大野隆司さん（「筑豊無名塾」代表）は、「作兵衛さんが歩んできた明治以降の時代は『戦争の歴史』『炭鉱の歴史』であり、これらは非常に密接な関係を持っている」と指摘。「炭鉱は戦争でもうけるため、ひどい労働条件で働かせ、戦争が終われば労働者をクビにする。そういう

九条の会講演会

—今、民主主義が試されるとき

◇とき 9月29日 13:00(12:00開場)

◇ところ 千代田区・日比谷公会堂

◇講演 大江健三郎、奥平康弘、
澤地久枝

◇朗読 俳人、歌人、詩人の「九条の会」

◇参加費 前売 1000円 当日 1500円

◇参加申し込み方法

・受付期間 9月14日まで（ただし定員に達し次第締め切り）

・申込方法 郵便局備付の振替用紙（青色）に「参加希望枚数／名前／住所／電話番号」を記入の上、参加券代金（1人1000円）をお振込みください。入場券を郵送します。

[振替口座]

記号番号 00100-9-774293

加入者名 九条の会講演会

※振込後10日経過しても入場券が届かない場合はご連絡ください。

繰り返しがやられてきた。その時代の動きを正確に知ろうと、作兵衛さんを軸にした筑豊の歴史を浮き彫りにする学習が広がっている」と紹介しました。

暮らしから見えた原発

【茨城／北茨城・九条の会】 福島県に隣接する北茨城市の北茨城・九条の会は7月21日、「暮らしから見えてきた原発～私にもひとこと言わせて」と題した学習会を開きました。日常生活の視点で原発を考えようというもので50人が参加しました。

学習会は参加者一人ひとりが発言する方式ですすめられ、「友人の次男が福島原発に勤めている。富岡町（福島県）に家を建てたばかりなのに、家族ばらばらで避難生活をしている。加害企業の社員だが、彼もまた原発事故の被害者ではないか」（女性）、「文科省が作成した原発の副読本は原発推進だ。反対の意見を紹介していないし、原発に対する思考力を奪う“減思力だ。”」（女性）、「東電は被ばく線量をごまかしてきた。そうしなければ『仕事なくなるぞ』ということか。補償問題でも東電に不信感をつのらせている」（男性）などの怒りの声がつぎつぎあがりました。

安保廃棄をめぐる参加者が討論

【愛知宗教者九条の会】 愛知宗教者九条の会は7月21日、「沖縄で憲法を考える」と題する学習会を開きました。最初に木全和博代表世話人が、「野田首相の暴走に歯止めをかけるのは憲法の役割」とあいさつ。

続いて、1年前に名古屋から沖縄に移り住んだ小林武沖繩大学客員教授が講演しまし

三木睦子さんご逝去

「九条の会」よびかけ人のお一人で、三木武夫記念館館長の三木睦子さんが、ご自身の95歳の誕生日にあたる7月31日、大腸腫瘍のため亡くなりました。

三木睦子さんは、「九条の会」よびかけ人のなかでは最高齢でしたが、各地の九条の会の集まりに小まめにでかけ、自らの戦争体験をまじえながら9条の大切さを語りつづけました。安倍内閣が改憲への動きを一気に強めつつあった2007年6月の九条の会の学習会では、安倍首相の祖父に当る安倍寛氏が戦前の迫害のなかでも平和のための活動をしていたことを紹介するなど人脈の広さも生かされました。

高齢にもかかわらず背筋を伸ばし、立ったままで語られるその姿は多くの人に感銘を与えました。

お別れの献花式が8月7日、盛大におこなわれました。

た。小林氏は、「沖縄は、本土復帰後も日本国憲法の平和的生存権を適用されていない。憲法を取り戻すには、おおもとにある日米安保条約を取り除く必要がある」と指摘。

これにたいして参加者から、「安保をなくしたら尖閣諸島問題などに対応できるのか」という質問が出され、ほかの参加者から、「軍備をいくら整えても国際問題は解決できない。憲法の平和主義を貫くべきだ」との発言が相次ぎました。